

重要事項（必ずお読みください）

◆宿泊について

・ハチ高原及び周辺宿泊施設及びこのはなキャンプ場（夏）等を利用します

但し、長期自然体験村のMTB ツアーは移動先の施設又は野営します。冬季は宿泊施設を利用します

◆スケジュールについて配布

バスツアー（バスでの送迎付き）の場合、添乗員は付きません。但し、リーダーが付きます。

スケジュールは、子ども達にその都度インフォメーションします。

◆万が一の時について（怪我・病気・トラブルなど）

スタッフは、出来るだけグループ内で起こったことは、グループ内で解決するようにします。怪我や病気の場合は、病院へ連れて行き休んでもらいます。夜間は総合病院の公立八鹿病院へ車で搬送します。

公立八鹿病院 079-662-5555 ハチ高原から40分

市立出合診療所 079-667-8008 ハチ高原から10分

途中で参加できない状態になった場合は、迎えに来ていただくことになります。子どもの意志を尊重しますが可能な状況であれば、せっかくですから参加できるように働きかけます。

◆保険等について

子ども達には、企画旅行賠償制度（傷害保険）に加入しています。（参加費に含む）

それ以上は指導中であっても自己責任（保護者負担）となります。

- ・バスツアー等参加の場合、企画旅行賠償制度 {（入院4,000円）・通院（2,500円）・死亡（1,000万円）} 及び特別賠償、企画旅行賠償制度は、自宅から自宅までの期間が対象です。特別賠償は、出発のバス乗車時点からバス下車時点までが保険範囲になっています。
- ・いつキャンの場合、現地での活動（スタッフに合流した時点から、解散した時点）を対象

◆事故が起きた場合の対応

事故の説明⇒代理店へ事故報告書提出⇒保険会社よりご自宅に書類送付⇒保険会社へ指定資料を自宅から提出⇒保険会社より入金の流れになります。

尚、プログラム中にケガ、事故が生じた場合、当団体で加入している上記保険の範囲内で対応いたします。

尚、病気（風邪、発熱）等、傷害保険の範囲外につきましても、実費負担となります。

現地で病院へ行った場合、NPO法人ハチ高原・自然体験村で立替ます。解散時に立替分をお支払いください。

◆免責事項、次の事由の場合責任を負いかねます。 免責：指導中であっても保護者の負担となります。

保護者は、常に危険が有る事を承知の上でお申し込み下さい。

過失のない行事中の事故・指示を聞かないで起きた事故・参加者の不注意による事故・天候・天災・地変・

ストライキ・政府指令・盗難・暴動・流行病・隔離・これらによるスケジュールの変更・遅延等の損害

・故意による破損などは対象になりませんので負担していただくことになります。

・参加者が疾病、傷害、その他の事由により医師に診断、治療を必要と判断する場合は必要な処置とります。

尚、その義務を負うものではありません。これにかかる一切の費用は保護者の負担となります。

スタッフの指導スタイルについて（長期キャンプの際の基本体系）

※どのコースのキャンプもこの考え方を基本としてスタッフは運営を進めています

子どもの「生きる力」を育む、つまり自ら考え行動する力を育む事業を推進しています。今までの野外活動では、大人が段取りし、ただ体験をさせていたというものが大半でした。そこで、ハチ高原長期子ども自然体験村では、野外活動を使った教育を実施することにしました。ハチ高原での体験は、非日常的な体験ですがこの体験から学んだことを実生活に活かせるように指導いたします。当日、初めて会った子ども達が、一日一日の体験を通し、そこで学んだことを自分たちのグループで規範（守ること、してはいけないこと、課題を解決するためにはどうすればいいか、仲間の目標に対し自分がどう関わっていくと達成できるかなどとして活かし）、15日間を過ごします。チャレンジすることや一日の計画を自分たちで考え、活動するスタイルを取ります。グループの成長とともに個人の成長を促進します。この成長段階で、非認知能力（心の葛藤・忍耐・協力・思いやり）が必要なプログラムを組んでいます。

子ども達に「グループチャレンジ」と「個人チャレンジ」という課題を提示しますが、その課題を子ども達は「どうしよう」「できないよ」と思うのですがグループで協力、信頼、役割分担、励ますことなどにより「やってみよう」「がんばってみよう」といった気持ちになり、その課題にチャレンジし、それが出来た時の達成感や充実感を体験してもらいます。

子どもが知らないことは、事前に講習してから体験をします。前半部分は、指導者が主体となって介入・指導いたしますが、ツアーからは、子ども達が計画を立て、グループで活動するようにします。

沢遊びは指導者が主体となって行います。（安全確保・誘導が重要となる為）子どもはチャレンジのみですが仲間を支える、助けることに重点をおいて実施します。

指導者は、子ども達の安全確保をまず第一に考えております。危険だと判断する場合は中止にいたします。

◆ スタッフについて

スタッフは、文部科学省の野外教育企画担当者セミナーを受けた人又は、文部科学省が推進している生きる力を育む活動の企画や指導法を理解している者で実施します。また、木登り、MTB、パラグライダー、スキーや沢遊びなどは、各専門スタッフを付けて行います。

基本的に各グループにリーダー1名と種目により専門コーチ、全体に看護師又は救急員、栄養士で実施します。

◆ グループ分けについて

グループ分けは、年齢等を考慮しながら異年齢構成します。

リーダー（大人）と遊ぶのではなく、子ども同士が遊べる状況作りを実施して行きます。

尚、お友達同での参加の場合でも特別な配慮はありません。